

岡山西消防署・ 消防防災センター

地域のランドマークとして軽くフレンドリーな、消防署の新たなイメージを打出しました。

施設概要

本施設は、近年急速に都市化が進んでいる岡山市西部地区において市民の安全な暮らしを支えるために整備された消防拠点施設です。
このため、大規模地震発生時においても施設を補修することなく迅速かつ初動対応が行えるよう免震構造建物となっております。
同時に開かれた行政を目指し、消防の日常が伝わる計画としています。

アトリウム:パブリック・スペースとして中心的な空間

誰でも立ち寄りやすく、日常の消防活動を間近で感じられる体験型開放空間

建物入口

受付

分かりやすく広く開かれた入口

出口まで横断歩道の表示と誘導ブロック（黄色）を敷設

親しみやすさの表現として透明ガラスとルーバー（横格子・縦格子）で構成すると共に、デザインに「赤」を取り入れることで、一見して消防署と分かる外観としました。



側溝：
スリット(細溝)型

柵蓋：
細目グレーチング

安全面に配慮した側溝・柵蓋
女性の靴や、杖等のつまづき事故防止に配慮



視認性の高いサイン類
目立ちやすい色・分かりやすい位置に配置
点字・英語を併記



安全・視認性に配慮した
歩行者通路・車いす駐車場
敷地外と建物入口を結ぶ誘導ブロックの延長線上に車いす駐車場を整備



配置図



防滑性塗床材
色替
(高輝度比)

バリアフリーに配慮したスロープ
敷地内スロープ1/15以下



安全面に配慮した警報機
緊急車両の出入り口には警報機を設け、歩道の通行者の安全面に配慮

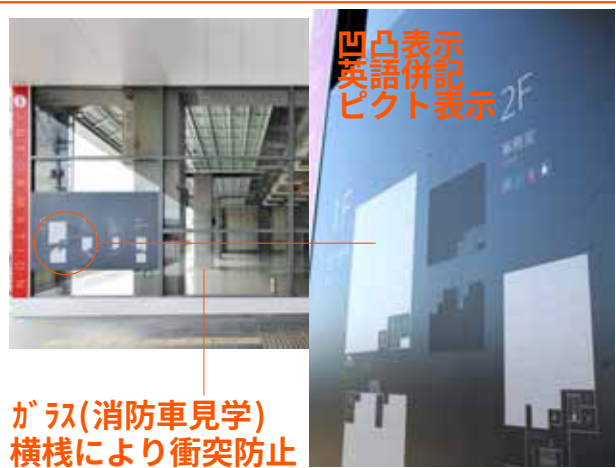


視認性の高い名称サイン
大きな文字で敷地角地の交差点に向けて配置(視認性の向上)
英語の併記

アトリウム(一般利用に対する開放ブロック)

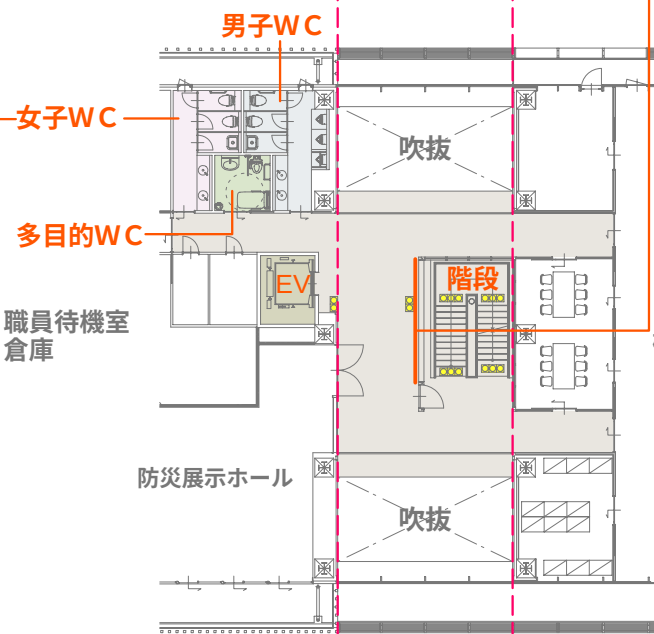


多目的WC (各階共通)
各階に設け、段差無しのゆとりのある広さを確保

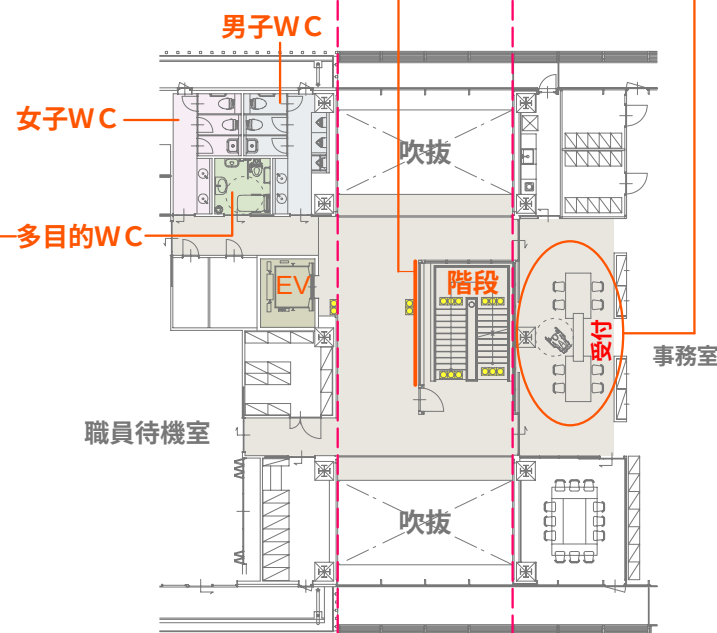


総合案内板
建物入口に配置
大きいINFORMATIONの
白抜文字で、どちら側から来
られても分かりやすいよう配慮

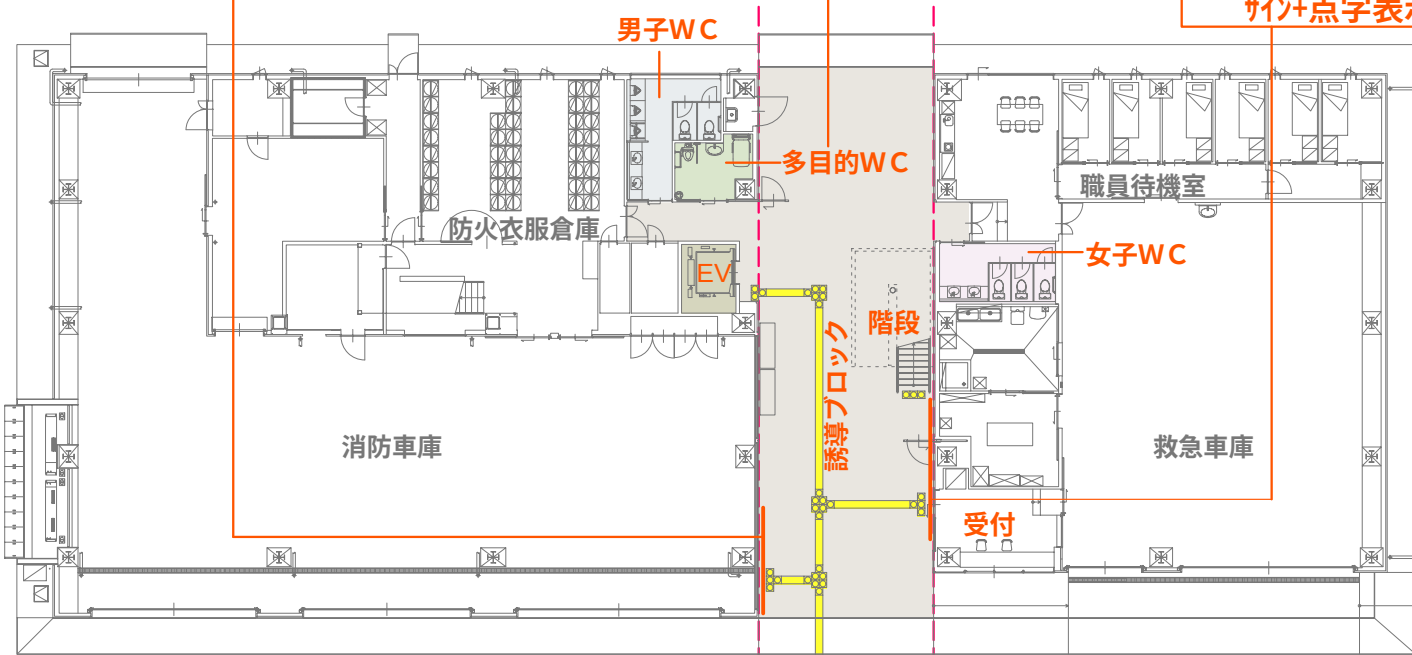
■4F平面図(アトリウム部分)



■3F平面図(アトリウム部分)

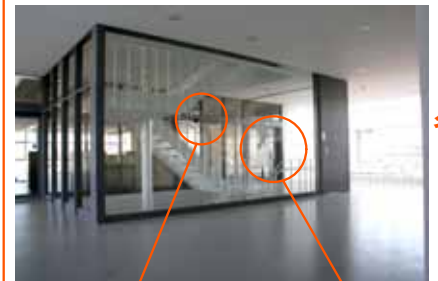


■2F平面図(アトリウム部分)



■1F平面図

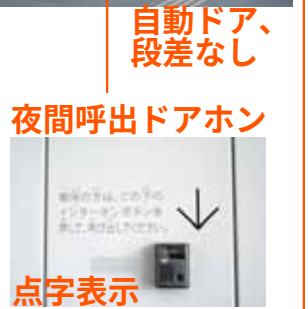
アトリウム(一般利用に対する開放ブロック)



フロア案内板
E Vの扉が開くと目の前に階案内があらわれ
る位置に計画
合せてガラス衝突防止に配慮



受付カウンター
受付カウンター前ではφ1.5mの車椅子が回
転できる空間をとり、蹴込みを設置



階段・受付
受付は来館者に分かりや
すく、また管理者が敷地を
一望できる位置に計画



EV (各階共通)
内部も手摺・鏡等を設置し車
いすの方に対応